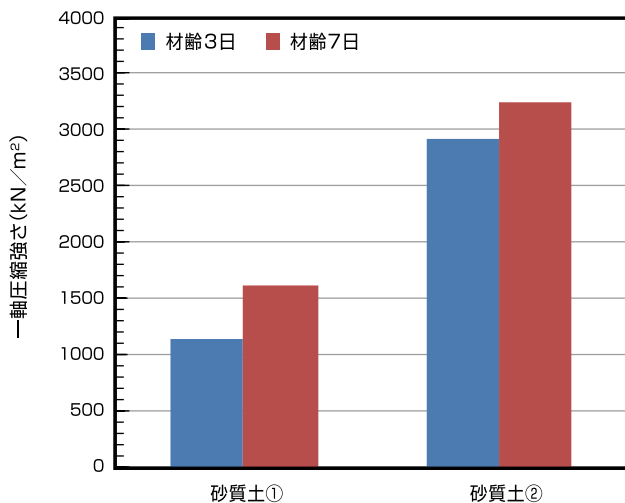


ハードキープP-550 特殊土用固化材【汎用品】

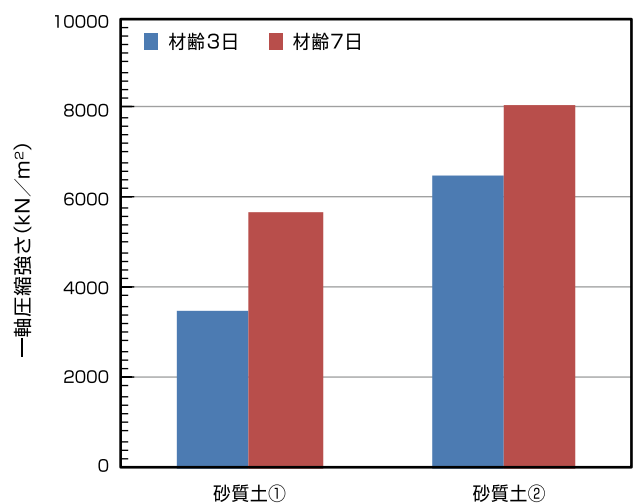
ハードキープP-550は、軟弱地盤の浅層改良や深層改良、建設発生土の改良、底質の固化処理など幅広い用途に適用でき、改良土からの六価クロム溶出量を低減する汎用的な固化材です。

室内配合試験結果の一例

砂質土（粉体混合：添加量100kg/m³）

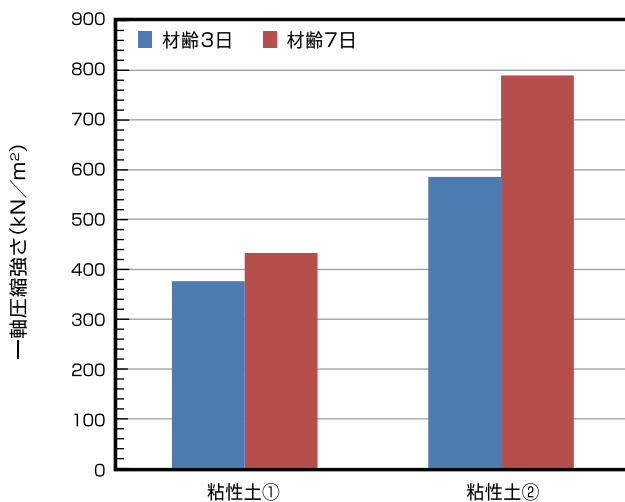


砂質土（スラリー混合：添加量300kg/m³, W/C=60%）

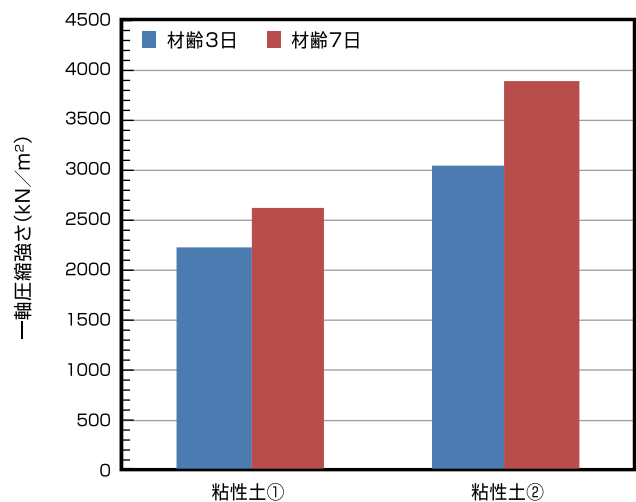


砂質土①：含水比w=23.1%, 湿潤密度 $\rho_t=1.607\text{g/cm}^3$ / 砂質土②：含水比w=17.5%, 湿潤密度 $\rho_t=2.045\text{g/cm}^3$

粘性土（粉体混合：添加量100kg/m³）



粘性土（スラリー混合：添加量300kg/m³, W/C=60%）



粘性土①：含水比w=56.3%, 湿潤密度 $\rho_t=1.667\text{g/cm}^3$ / 粘性土②：含水比w=31.4%, 湿潤密度 $\rho_t=1.848\text{g/cm}^3$

室内配合試験時(配合設計段階)の改良体からの六価クロム溶出試験結果の一例

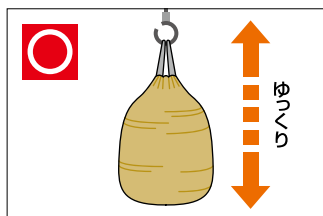
対象土	土質性状		配合		六価クロム溶出量 (mg/l)
	含水比 (%)	湿潤密度 (g/cm ³)	添加量 (kg/m ³)	W/C (%)	
砂質土	26.7	1.494	100	—	0.01
砂質土	17.5	2.045	300	60	0.01
粘性土	31.4	1.848	100	—	0.02
粘性土	56.3	1.667	300	60	0.03

⚠ ハードキープ取り扱い上の注意

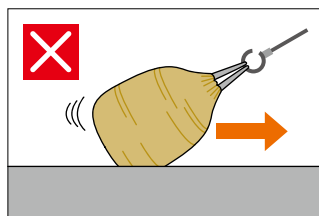
- ①ハードキープは、地盤改良を目的としたセメント系固化材です。モルタルやコンクリート等に用いないでください。
- ②ハードキープは、事前に配合試験を行っていただき、適正な添加量でご使用ください。
- ③ハードキープを過剰添加した場合、結合水の不足による固化不良を起こす可能性があります。また、過剰添加による未水和のハードキープが残存した場合、施工後の降雨等による水の供給により膨張を起こす可能性があります。
- ④ハードキープには極微量のクロム化合物が含まれています。ハードキープを用いた改良土から稀に土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行っていただき、溶出量をご確認ください。
- ⑤ハードキープと土の混合が不十分な場合、固化不良や膨張を起こす可能性があります。また、六価クロムの溶出量が高くなる場合があります。
- ⑥ハードキープを使用する場合、井戸等の水源近くでの過剰使用は避けてください。
- ⑦改良対象土中に化学反応を起こす物質等の異物が混入している場合、改良土に品質異常が生じる場合があります。例えば、硫酸分(SO₃)の多い地盤に使用すると膨張を起こす場合があります。
- ⑧六価クロムに対して過敏な場合、ハードキープを使用してアレルギーが起こる可能性があります。
- ⑨ハードキープは、水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(pH12~13)をしめします。ハードキープが目に入ったり皮膚に付着した場合、速やかにきれいな水で洗浄し、専門医の処置をお受けください。また、吸入した場合、速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、専門医の処置をお受けください。
- ⑩ハードキープを多量に長時間吸入すると人体に害を及ぼす恐れがあります。
- ⑪ハードキープを使用する際は、手袋、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- ⑫スラリープラント等で発生する洗浄水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するよう十分留意してください。
- ⑬ご使用後のフレキシブルコンテナや紙袋およびハードキープの残材は、法律に基づき適切に処理してください。

⚠ フレキシブルコンテナ品の取り扱い上の注意

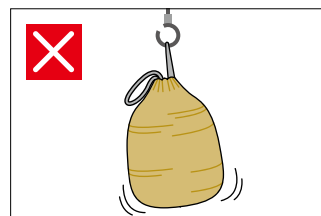
吊上げる場合



急な吊上げ、吊おろしはしないでください。

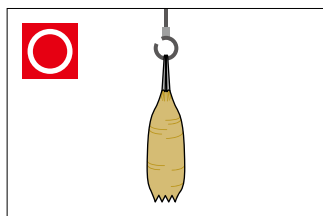


横びきはしないでください。

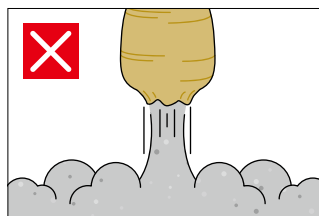


吊ロープをフックに正しく掛け、片吊はしないでください。

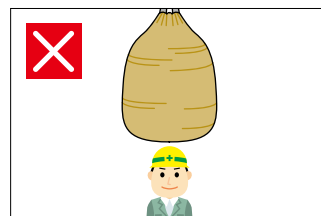
排出する場合



内容物を残さないように全量排出してください。

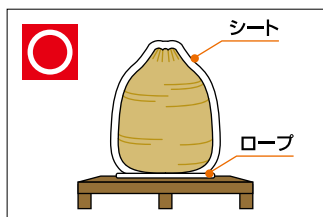


発塵を防止するために、できるだけ低い位置で排出してください。



吊上げたフレコンの下に入らないでください。

保管する場合



仮貯蔵をする場合、水に濡れないように直置きはしないでシート等で覆ってください。



※カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。 ※カタログに記載されている内容は、本製品の適用結果を保証するものではありません。
※カタログ内容は、予告なく変更することがあります。

 **太平洋セメント株式会社**

セメント事業本部 営業部 固化材営業グループ

〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー ☎03-5801-0314

■東京支店
■関東支店
■関西支店
■四国支店
■中国支店
■九州支店

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28三田国際ビル
〒370-0849 群馬県高崎市八島町58-1ウエスト・ワンビル
〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町4-1-3御堂筋三井ビル
〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15セントラルビル
〒730-0811 広島県広島市中区中島町3-25ニッセイ平和公園ビル
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-25キャナルシティ・ビジネスセンタービル

☎03-3455-5927
☎02-7330-2114
☎06-6205-8611
☎087-863-6661
☎082-504-8613
☎092-263-8455